

年長すみれ組 表現参観に向けての取組

年長組／劇遊びの会に向けて(小道具づくり)

191125(月)

○年長組／劇遊びの会に向けて(衣装・小道具づくり)



▲役ごとに友だちと集まって、自分たちの衣装や小道具を作りました。同じ役の友だちと互いのイメージやアイデアを伝え、共有しながら作り進めます。形はどうする?色はどうする?どんな風につける?ここでも担任は、子どもたちのイメージを丁寧に聞き出し、それらを実現するために様々な素材を提示します。



▲「トゲトゲ」を表現したい恐竜チーム。どうすればトゲトゲになるか試行錯誤を繰り返し、満足のいく衣装ができました。



▲頭にピッタリとはまる「王冠」を作りたい王様チーム。何度も頭に合わせながら、紙を足したり、テープでとめたり工夫していました。



▲曲がらない「刀」を作りたい子どもチーム。イメージする形に近づけるためにツギハギした段ボールは、ぐにやりと曲がってしまいます。すると、曲がってしまう所にさらに段ボールを重ね、強度を上げる、ということを見ました。このように、自分たちで試行錯誤しながら、イメージを実現することで、様々な学びを得ています。また、その学びを友だちと共有することで、達成感や一体感が生まれます。

年長組／劇遊びの会に向けて(お話作り)

191120(水)

○年長組／劇遊びの会に向けて(お話作り)



▲12/4の劇遊びの会に向けて、オリジナルのお話づくりからスタートした年長組。

まず、登場人物を考え、テーマについて話し合います。担任が子どもたちのイメージを引き出し、思い思いに考えを出しました。劇のテーマは何にするか?登場人物はどうするか?などを考えながら、お話しのあらすじを決めていきます。



▲その後、役ごとに集まり、あらすじに沿って台詞やストーリーの展開を考えます。子どもたちがイメージを膨らませながら表出する言葉を、担任は一つ一つ丁寧に紡いでいきます。



▲このように、みんなで考えを出し合い、一つのお話を作ることは容易なことではありません。年長組になってから、生活や遊びの中で、自分の思いを伝える・友達の思いを聞く・みんなで伝え合う経験を積み重ねてきました。担任と子どもたち、そして子どもたち同士が安心して思いを出し合える関係がしっかりと築かれています。

また、絵本の読み聞かせや貸し出しなどとおして、絵本との出会いやお話の楽しさを共有してきたことも繋がっています。

果たしてどんなお話が完成するのか。引き続き楽しみながら、取り組んでいきます。

年長組 / 劇遊びの会に向けて

191126(火)

○年長組 / 劇遊びの会に向けて(舞台の上でやってみよう)



▲自分たちで作った衣装や小道具を身につけて、舞台の上で劇をやってみることにしました。衣装を身につけたことで、役になりきる気持ちや仲間と一緒に頑張る気持ちが湧いてきます。自分の言葉、動きを一つ一つ確かめながら紡ぎ、お話を進めていきました。お客さんに聞こえるには、どのくらいの大きさの声を出せばいいのか、顔を見てもうらにはどこに立てばいいのかも、同時に考えていきます。



▲自分たちで考えながら作り上げているからこそ、みんなの中でしっかりとイメージやストーリーが共有されています。さらに劇遊びを豊かにしていくために、振り返りもしっかりと行い、明日の活動につなげていきます。

★取組の様子については、「[荒川区立東日暮里幼稚園ホームページ](#)」にて掲載中です。
ホームページ上部の「年長組(5歳児)」のツールバーから、バックナンバーもご覧いただけます。

年長組 / 劇遊びの会に向けて

191127(水)

○年長組 / 劇遊びの会に向けて(背景・大道具を作ろう)



▲役ごとに集まって、それぞれの場面で必要な背景や大道具の作成をしました。大きな模造紙に大きな木を描き、ジャングルを表現したり、カラフルなお城を描いたり...絵の具を使ってダイナミックに表現することや、友だちと思い思いの表現を持ち寄り、ひとつのものを完成させることを楽しみました。「僕はここを描くから、そっちお願い!」「こんな風に描くのはどう?」「いいね!」など、互いに声を掛け合い作成する姿からも、一体感を感じます。

年長組 / 劇遊びの会に向けて(劇を支える役目)

191129(金)

○年長組 / 劇遊びの会に向けて(劇を支える役目)



▲年長組は、自分が舞台に出ていない時も、ナレーターや効果音など、劇を支える役目を担うことで、一人一人が主役であるという自信や自覚が芽生えます。

また、学級のみんで1つのもを作り上げる達成感や充実感につながります。

年長組／劇遊びの会に向けて(合奏)

191128(木)

○年長組／劇遊びの会に向けて(合奏)



▲これまでも様々な楽器に親しんできた子どもたち。年長組になってから、キーボードや木琴、鉄琴など新しい楽器にも親しむようになりました。好きな楽器を選び、担任の指揮に合わせて楽器を鳴らす経験を重ねてきました。



▲好きな遊びの中でも、楽器を自由に取り出し親しめるようにしておく、指揮者が現れ、演奏者たちは真剣に指揮者を見つめ、楽器を鳴らしていました。それぞれが十分に楽器に親しんできたところで、これまで学級で歌ってきた曲に合わせて全員で合奏することになりました。



▲同じ楽器の友だちと音を合わせること、担任の指揮をしっかり見つめ演奏することなど、学級みんなで気持ちを揃え、合奏を楽しんでいます。

年長組／劇遊び／年少組・年中組に見せよう

191202(月)

○年長組／劇遊びの会に向けて(年少組・年中組に見せよう)



▲これまで学級で取り組んできた劇遊びの会に向けての活動を見てもらおうと、年少組と年中組を遊戯室へ招待しました。合奏、劇、歌。どれも年長組にしかできないことばかり。



▲いつだって憧れの年長組さんの姿を、年少組、年中組の子どもたちは真剣に見つめていました。

全ての演目が終わった後、年少組と年中組に感想を聞いてみると、「劇のお話が楽しかった」「合奏がすごかった」「年長さんはみんなかっこよかった」など、たくさんの嬉しい言葉が。これらの言葉を励みにし、明後日の本番へ向かいます。



▲191202 前日のリハーサルを終え、「明日は頑張るぞ！」とみんなで気持ちをひとつにしました。

2019.12.4(水) 表現参観



▲年少組・年中組をお客さんに招いたりハーサルを経て、いよいよ本番を迎えます。
これまで積み重ねてきた取組の成果を発揮し、一人一人が輝く表現参観となりますように。



担任から・・・

～すみれぐみだより「きらきら」表現参観特集号より～

劇を作る過程で・・・

幼稚園の劇や発表会というと、私立の幼稚園などでは大人が作ったキラキラめいた衣装で華やかにまとったものを発表しているところも多いと思います。実際に私もそういう園でそんな発表会をしてきました。見た感じは、そういう出来あがりの方が華やかに見えるかもしません。今日の劇もそういう意味では、まとまていないかもしません。

でも、この劇を作る過程の中には、自分のアイデアを言葉で伝えたり、人の意見を聞いたり、みんなが話し合えば少しずつ形になっていくうれしさを喜び、またその中で必要なものを考えたり、考えたものを自分で工夫して作りあげたり、友だちと協力したり、認めあったり・・・教えられるものをただ練習してこなしていく発表会とは全く違う経験が「たくさんつまります」。これまでの過程の中で、子ども達がどんなことを喜び、どんな風にやっていたのか、そんなことも想像しながら見ていただけるとみんなの良さやがんばりをたくさん発見できるとはなないでしょうか。



おうちの方も、3年間の子どもたちの成長を振り返りつつ、一緒にお話しの世界を楽しんで欲しいです。ぜひぜひ皆さんの目で、子どもたちの姿をじっくり見てくださいな。そして、たくさんのお手拍子で子どもたちにエールをお願いします。